

藻類養殖情報（令和5年1月号）

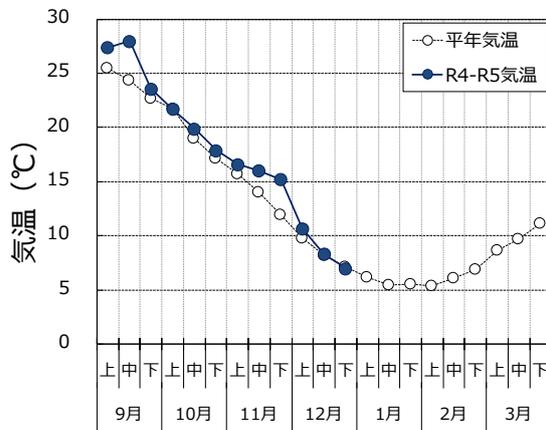
令和5年1月16日発行
 大阪府立環境農林水産総合研究所
 水産技術センター

○漁場環境

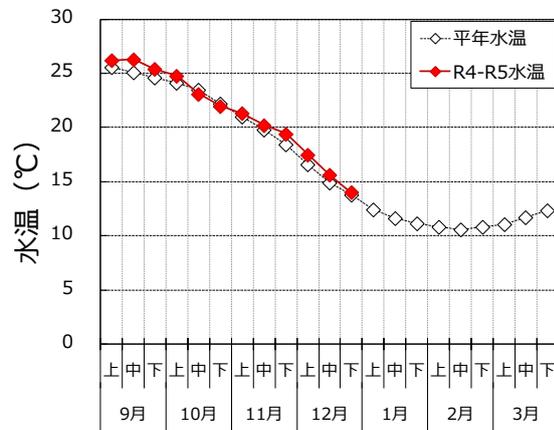
- ・気温（谷川）：12月上旬に急に降温して平年よりやや高め程度になり、中旬以降は平年並みとなりました。
- ・水温（谷川）：12月上旬は0.9℃、中旬は0.7℃、下旬は0.2℃ほど高めに推移しました

下記の水産技術センターホームページでも水温情報を毎日更新しておりますのでご利用下さい。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



※平年値はH24～R3年度の平均



※平年値はH24～R3年度の平均

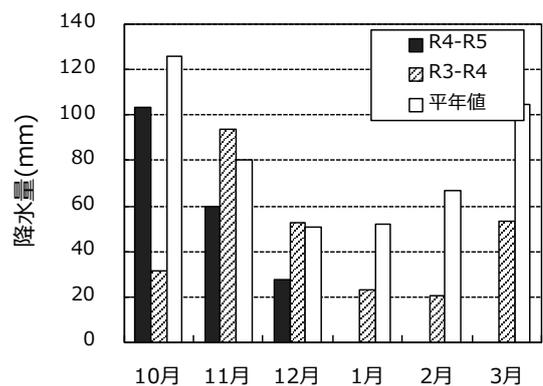
旬別水温・気温の推移（谷川地先9時）（平年値はH23～R2年度の平均）

- ・降雨量（谷川）：12月上旬にはまとまった降雨が無く、今年の12月はおおよそ平年の半分程度の降雨量となりました。また、年末の1週間は雨の降らない日が続きました。

・今後の気温降雨量予測（気象庁季節予報）

1月14日～1月26日の期間中には、気温は平年並みか高いと予報され、特に1月の中旬は暖かい空気に覆われて気温がかなり高くなる見込みです。また、降雨量はほぼ平年並みと予報されています。

URL



降雨量（谷川地先）

（平均値はS47～H27年度の平均）

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#term=season&area_type=offices&area_code=270000



○漁場水質調査結果（1月4日～1月5日採水）

- ・塩分：塩分は30.82～32.74でした。
- ・リン：各地区のリン濃度は0.33～0.96 μmol/lでした。

ワカメ養殖：いずれの地区においてもワカメの生育には十分な濃度ですが、西鳥取以南で低下の傾向が見られます。

ノリ養殖：尾崎地区では十分な濃度がありますが、西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を下回っています。

- ・窒素：各地区の窒素濃度は2.92～23.04 μmol/lでした。

ワカメ養殖：いずれの地区においてもワカメの生育には十分な濃度ですが、リンと同様西鳥取以南で低下の傾向が見られます。

ノリ養殖：尾崎は十分な濃度がありますが、西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を下回っています。

	ワカメ	ノリ
リン (μmol/l)	0.1	0.5
窒素 (μmol/l)	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*	西鳥取*	下荘	谷川
塩分 (psu)	31.07	30.82	31.76	32.20	31.81	32.74
リン (μmol/l)	0.96	0.65	0.70	0.33	0.44	0.52
窒素 (μmol/l)	19.54	23.04	12.55	2.92	6.26	5.48

*尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

○赤潮発生状況

1月5日・6日の海洋観測では赤潮の発生は確認されませんでした。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい(冬季は2週間に1回更新)。

URL : <http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



○養殖状況（1月5日）

ノリ：尾崎・西鳥取両地区ともに順調に生育しています。12月中は時化が続き摘採作業は行われませんでした。年明けから順次板海苔の生産が進められます。

ワカメ：各地区で概ね順調に生育しており、一部漁場では50 cm程度にまで生長し、生ワカメでの出荷が始まっています。谷川地区でも1月中旬以降に本養殖が開始される見込みです。

○病害異常

今のところ病害異常はありません。

ノリ：藻体の状態を確認し、天気予報に注意しながら摘採スケジュールを検討してください。

ワカメ：水温・栄養塩とも問題ありません。葉体の生長を待ちましょう。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。